

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1 組：高橋・家田）（2 組：高橋・長谷川）（3 組：高橋・家田）（4 組：高橋・家田）

使用教科書：（ 数研出版 新編 言語文化 ）

教科 国語 の目標：
【知 識 及 び 技 能】日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	姿勢正しく、進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			経・ 聞	書	読					
1 学 期	地域の「ことば」／とんかつ 【知識及び技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項/作品の内容を踏まえ、登場人物のその後の行動を想像して話し合う。 ・教材/とんかつ ・授業ファイル・ノート・国語便覧・漢字問題集・一人1台端末の活用 等				【知識・技能】文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。				7
	定期考査						○	○		1
	古文の世界を楽しむ/児のそら寝（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項/登場人物の行動や心情を説明できるようにする。 ・教材/稚児のそら寝 ・授業ファイル・ノート・国語便覧・漢字問題集・一人1台端末の活用 等				【知識・技能】古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。				7
	定期考査						○	○		1

2 学 期	受け継がれる古典/羅生門 【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項/作品の内容を踏まえて、主人公のその後を想像し、自分の考えを文章にまとめる。 ・教材/羅生門 ・授業ファイル・ノート・国語便覧・漢字問題集・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している【知識・技能】	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	「故事と成語」（ズームアップ 故事成語の用例を探そう） 【知識・技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。 【思考・判断・表現】作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項/現代日本語における漢文由来の故事成語の用例を調べ、使えるようにする。 ・教材/「故事と成語」 ・授業ファイル・ノート・国語便覧・漢字問題集・一人1台端末の活用 等	○		○	【知識・技能】我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考・判断・表現】読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3 学 期	記録する文学/沖縄の手記から 【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる。 【学びに向かう力、人間性等】近現代に起きた戦争に向き合いながら作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとする。	・指導事項/語感を磨き、語彙を豊かにする。文字や言葉の変化について理解を深める。 ・教材/沖縄の手記から ・授業ファイル・ノート・国語便覧・漢字問題集・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識・技能】我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できている。 【学びに向かう力、人間性等】近現代に起きた戦争に向き合いながら作品内容を解釈し、学習課題に沿って考察しようとする。	○	○	○	14
										合計
										46
	定期考査						○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 公民科 科目 公共

教 科： 公民科 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（ 1組： 安田 （2組： 安田） （3組： 槇野） （4組： 槇野）

使用教科書：（ 公共 実教出版 ）

教科 公民科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 より良い社会の実現のため現代社会の課題について、主体的に解決しようとしている。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	社会的事象等から現実社会の課題解決に向けて、他者と協働し、多面的・多角的な考察にまよめて議論する力を身に付ける。	より良い社会の実現のため現代社会の課題について、主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A単元 第1章社会をつくる私たち 【知識及び技能】 社会的存在として在り方、生き方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 対話を通じ個人と集団等の関わり等について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対話に取り組み課題を解決しようとしている。	・指導事項 青年期、自己形成の課題 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 社会的存在として在り方、生き方を理解している。 【思考・判断・表現】 対話を通じ個人と集団等の関わり等について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に対話に取り組み課題を解決しようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 第2章人間として良く生きる 【知識及び技能】 社会的利益と自己決定の選択について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例検討等を等のグループ活動を通して行い考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に対話を行い課題解決に取り組む。	・指導事項 職業生活と社会参加 伝統・文化と私たち 古代ギリシアの人間観 科学と人間 自由の実現 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 社会的利益と自己決定の選択について理解している。 【思考・判断・表現】 事例検討等を等のグループ活動を通して行い考察を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に対話を行い課題解決に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	C 単元 他者とともに生きる 【知識及び技能】 個人と社会全体の幸福について思考実験等を通じて功利主義等の概念や知識を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 思考実験などについて他者と討議しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 人間と幸福 公正な社会をめざして ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人と社会全体の幸福について思考実験等を通じて功利主義等の概念や知識を理解している。 【思考・判断・表現】 思考実験などについて他者と討議し、まとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	D 単元 民主国家における基本原理、民主社会の倫理、民主国家における基本原理 【知識及び技能】 人間として適切な行為について尊厳や平等の概念を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から自由と権利・義務の関係について読み解き表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 人間の尊厳と平等 自由・権利と責任・義務民主政治の基本原理 民主政治のしくみと課題 世界の主な政治制度 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間として適切な行為について尊厳や平等の概念を理解している。 【思考・判断・表現】 資料から自由と権利・義務の関係について読み解き表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	E 単元 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事例研究を通して他者と討議しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 議論等を通して当事者の最善案、を旨し、利害調整や適正な手続きや実効性について問題意識を持たせる。	・指導事項 憲法の成立・基本的性格、自由に生きる権利、平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権、新しい人権、人権の広がり と公共の福祉、平和主義とわが国の安全、こにちの防衛問題 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 事例研究を通して他者と討議しまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 議論等を通して当事者の最善案、を旨し、利害調整や適正な手続きや実効性について問題意識を持っている。				8
	F 単元 日本の政治機構 【知識及び技能】 政治のしくみや国民主権等の概	・指導事項 政治機構と国会、公正な裁判の保障、政党政治、選挙制、世論と政治参加	【知識・技能】 政治のしくみや国民主権等の概念、適正な手続きのもと個人や社会の紛争を調停、解決				

2 学 期	念、適正な手続きのもと個人や社会の紛争を調停、解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組んでいる				6
	定期考査			○	○		1
	G 単元 現代の経済社会 【知識及び技能】 現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行われていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 市場機構の限界の知識を活用し具体的なテーマのもとで課題について考察し、グループ活動を通して規制のあり方について意見をまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。	・指導事項 経済活動の意義、経済社会の変容、市場のしくみや失敗、経済成長と国民福祉 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行われていることを理解している。 【思考・判断・表現】 市場機構の限界の知識を活用し具体的なテーマのもとで課題について考察し、グループ活動を通して規制のあり方について意見をまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組む。				8
	H 単元 日本経済の特質と国民生活 【知識及び技能】 公正かつ自由な経済活動を行うことで資源の効率的な配分が図られること、市場システムにおける政府のやくわりや経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 転機立つ日本経済、中小企業、農業・食料問題、 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 公正かつ自由な経済活動を行うことで資源の効率的な配分が図られること、市場システムにおける政府のやくわりや経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現している。				6

	人口減少社会が直面する経済的課題について協働的に考察したうえで、そのための経済政策を選択・判断し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組む。		【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組んでいる。				
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 単元 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際的な相互依存の深まりや現実社会の事柄とのかかわりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から日本の国際貢献についてその特徴と今後の課題について協議し、まとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、協議等に参加する。	・指導事項 国際社会と国際法、国連、国際協力、人権・民族問題、軍拡競争、国際平和と日本の役割 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国際的な相互依存の深まりや現実社会の事柄とのかかわりを理解している。 【思考・判断・表現】 資料から日本の国際貢献についてその特徴と今後の課題について協議し、まとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組み、協議等に参加している。				6
	J 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 経済のグローバル化と相互依存の深まりと、地域統合や地域格差について実情や課題等を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 グループ討議から経済統合のメリットやデメリットについて当事者の立場に立って考察しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に取り組み、協議等に参加する。	・指導事項 貿易と国際収支、外国為替市場、地域経済統合の進展 ・教材 教科書、プリント、 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 経済のグローバル化と相互依存の深まりと、地域統合や地域格差について実情や課題等を理解している。 【思考・判断・表現】 グループ討議から経済統合のメリットやデメリットについて当事者の立場に立って考察しまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に取り組み、協議等に参加している。				6
	K単元 持続可能な社会をめざして 【知識及び技能】 現実社会の諸課題について、必要な知識を習得している。適切な課題を設定するため、生徒自らの構想をもとにテーマを絞ってまとめる方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題についての考察を他者にわかりやすいように表現しまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に課題に積極的に取り組み自らの考察を深める。	・指導事項 社会的に課題の発見と資料の収集・分析 社会的な課題の探求 自分の考えの説明、論述 ・教材 教科書、プリント、 ・一人2台端末の活用 等	【知識・技能】 現実社会の諸課題について、必要な知識を習得している。適切な課題を設定するため、生徒自らの構想をもとにテーマを絞ってまとめる方法を理解している。 【思考・判断・表現】 現実社会の諸課題についての考察を他者にわかりやすいように表現しまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に課題に積極的に取り組み自らの考察を深めている。				4
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科 数学

科目 数学Ⅰ

教科 数学

科目 数学Ⅰ

単位数 3 単位

対象学年組 第1学年 1組～4組

教科担当者 (1組 田中友貴・柳沢勇貴) (2組 田中友貴・柳沢勇貴) (3組 田中友貴・桐山倫之) (4組 田中友貴・桐山倫之)

使用教科書 (数研出版 新 高校の数学Ⅰ)

教科 数学

の目標

- 【知識及び技能】
- 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象の数学化、数学的解釈数学的な表現や処理をする技能を身に付ける。	命題の条件や結論、式を目的に応じて変形、図形の性質や計量についての論理的な考察、関数を用いて事象を整理し式やグラフの考察、データを適切に分析し解決に至る考察等の力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用する姿勢、数学的論拠に基づく判断、問題解決の過程を考察する態度や創造性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	数と式 第1節 数と式の計算 既習事項の計算方法で処理することを養い、数や文字についての理解を深める。	指導事項 ・計算の基本 ・単項式と多項式 ・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・展開の公式 ・因数分解 ・展開・因数分解の工夫 教材 ・教科書学習ノート 数学Ⅰ	【知識・技能】 四則計算ができる。文字式の整理・計算ができる。指数法則の計算ができる。展開の公式を利用できる。因数分解の公式を利用できる。 【思考・判断・表現】 四則が混じった複雑な計算ができる。複雑な展開・因数分解ができる。たすき掛けの仕組みを理解している。置換法を用いて複雑な因数分解ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	16
	定期考查			○	○		1
	数と式 第1節 数と式の計算 第2節 1次不等式 無理数を扱う四則計算することを養う。不等式を理解し、1次不等式を解く方法を考察し活用する力を養う。	指導事項 ・根号を含む式の計算 ・実数 ・1次方程式 ・不等式 ・不等式の解 教材 ・教科書学習ノート 数学Ⅰ	【知識・技能】 平方根の意味を理解している。根号を含む計算ができる。分母を有利化することができる。有理数と無理数の違い、実数について理解している。分数、小数で表すことができる。絶対値の意味を理解している。1次方程式を解くことができる。不等式の意味を理解している。不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 絶対値を考察し理解している。不等式を理解し、1次不等式の解法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	19
	定期考查			○	○		1
2 学期	2次関数 第1節 2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数の理解・考察を深める。	指導事項 ・関数 ・1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ ・2次関数の最大値、最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式 教材 ・教科書学習ノート 数学Ⅰ	【知識・技能】 関数・座標を理解している。1次関数のグラフが描ける。放物線を理解している。2次関数のグラフが描ける。平方完成への変形ができる。2次関数の最大値・最小値を求めることができる。解の公式を理解している。共有点を求めることができる。2次関数のグラフを利用して2次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 2次関数の式・グラフを理解し平行移動・対称移動の概念を考察することができる。2次関数の最大値・最小値の考察ができ、グラフや式の持つ意味を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	21
	定期考查			○	○		1
	図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用 三角比の意味を理解し、様々な事象について数学的に捉え、三角比を活用する。	指導事項 ・直角三角形 ・三角比 ・三角比の利用 ・三角比の相互関係 ・鈍角の三角比 ・正弦定理 ・余弦定理 教材 ・教科書学習ノート 数学Ⅰ	【知識・技能】 三平方の定理、三角定規の辺の比を理解している。直角三角形や三角比の表を利用して、正弦・余弦・正接を求めることができる。三角比を利用して辺の長さや角度を求めることができる。角度の関係性を理解している。三角比の相互関係を利用することができる。鈍角の場合においても三角比を理解している。正弦定理・余弦定理を理解し辺の長さや角度を求めることができる。 【思考・判断・表現】	○	○	○	22

			【心づ・判断・表現】 測量を三角比を用いて解く。拡張された三角比を理解している。正弦定理や余弦定理を利用して測量問題に活用することができる。空間図形から平面に抜き取り考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。				
	定期考查			○	○		1
3 学 期	図形と計量 第2節 三角形への応用 集合と命題 データの分析 三角形の面積を様々な方法で求めることができる。集合と命題の概念を理解する。データの分析をもとに、データの利用方法を適切に行える力を培う。	指導事項 ・三角形の面積 ・集合 ・命題と集合 ・必要条件と十分条件 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばり ・データの相関 ・仮説検定の考え方 教材 ・教科書学習ノート 数学 I	【知識・技能】 三角形の面積を様々な公式を利用して求めることができる。集合の概念を理解し、要素、共通部分、和集合、空集合、補集合等を求めることができる。命題の意味を理解している。命題の真偽を判定することができる。否定の記号を理解している。必要条件・十分条件の意味を理解している。逆・裏・対偶を述べることができ理解している。データの用語を理解し利用することができる。データの様々な代表値を求めることができる。データの散らばりを四分位範囲・箱ひげ図・標準偏差等で表すことを理解している。データの相関係数を求めることができる。仮説検定の考え方を理解している。 【思考・判断・表現】 ベン図の利用を理解する。命題の真偽の理解を深める。背理法や対偶法を用いた証明方法を理解する。データの正しい分析を行えるように理解し導くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業での取り組む姿勢、課題への取り組む姿勢を評価する。	○	○	○	22
	定期考查			○	○		1
							合計
							105

東京都立北豊島工業高等学校 令和7年度年間授業計画

教科:(理科)科目:(化学基礎) 対象:(第1学年1組～4組)

教科担当者:(1組:伊藤)(2組:伊藤)(3組:伊藤)(4組:伊藤)

指導内容 【年間授業計画】		理科（化学基礎）の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時数
4月	化学と人間生活	1. 物質の成分と分離(1) ・混合物と純物質について理解する。 2. 物質の成分と分離(2) ・混合物を分ける分離という操作があり、ろ過、抽出、昇華法、再結晶などがあることを学ぶ。 3. 化合物・単体と構成元素 ・周期表を1～20番まで覚える。 4. 成分元素の確認 ・炭素と塩素と水素の検出方法を理解する。 ・ガスバーナーの操作を習得する。 ・炎色反応に関する実験を行い、成分を確認する方法を理解する。 ・沈殿について、反応式から理解する。	8
5月	物質とその構成要素		
6月	物質とその構成要素	1. 化学で取り扱う変化 ・状態変化は物質の熱運動によって変化することを学ぶ ・セルシウス温度と絶対温度との関係を理解させる。 2. 原子のなりたち ・原子を構成する基本的な粒子について理解する。 3. 同位体とその利用 ・同位体は原子番号が同じで質量数が異なることを理解する。 4. 原子の電子配置 ・周期表1～20番までの電子配置をかくことができる。 ・原子の電子式をかくことができる。 5. 元素の周期律と周期表	8
7月	物質と化学結合	1. イオン ・イオンの電子配置をもとに陽イオン、陰イオンのでき方を理解する。 ・イオン式を覚える。 2. イオンからできる物質(1) ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 ・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。	8
9月	物質と化学結合	3. イオンからできる物質(2) ・陽イオンと陰イオンの間に静電的な引力がはたらくことを理解する。 ・イオンからなる物質を組成式であらわせるようにする。 4. 共有結合 ・分子を理解する。 ・共有結合は不対電子を出し合って対をつくることで形成されることを理解する。 ・分子の電子式と構造式をかけるようにする。 5. 分子の構造と極性 ・分子の構造は様々なものがあることを理解する。 ・極性をもとに、物質の性質を理解する。	8
10月	物質量と化学反応式	1. 原子量 ・相対質量について理解する ・相対質量はCの質量を12としていることを理解する。 2. 分子量・式量 ・分子量、敷料を原子量から確実に求められるように演習を通して理解する。 3. 物質量(1) ・1molが 6.02×10^{23} の集まりであることを理解する。 4. 物質量(2) ・分子量・式量を計算できるようにする。 ・気体の1molは標準状態で22.4Lであることを理解する。 5. 演習(物質量) ・物質量の計算を確実にできるようにする。 6. 溶解と濃度 ・物質が溶けることを微視的な視点で理解できるようにする。 7. 演習(物質量と濃度) ・濃度の計算(質量パーセント濃度・モル濃度)を確実にできるようにする。	16
11月			
12月			
1月	物質量と化学反応式	8. 化学変化と化学反応式 ・化学反応は原子の結びつきが変化することを理解する。 ・化学反応式の係数を求められるようにする。 9. 化学反応式と量的関係(1) ・化学反応式と粒子の数、質量、気体の体積の関係を計算で求められるようにする。 10. 化学反応式と量的関係(2) ・過不足がある場合の計算を理解する。	6
2月	酸・塩基とその反応	1. 酸と塩基 ・アレニウスの定義による酸・アルカリの分類を理解する。 ・代表的な酸、アルカリの電離式をかけるようにする。 2. 酸、塩基の強弱と水素イオン濃度 ・酸、塩基には強さがあることを理解する。 ・水はわずかに電離して水素イオンと水酸化イオンになることを理解する。 3. 水素イオン指数 ・pHの簡単な計算ができるようにする。 4. 中和と塩 ・酸とアルカリの反応を中和とよぶことを理解する。 ・中和によってできる物質が水と塩であることを電離式を踏まえて説明できるようにする。	8
3月	酸化還元反応	1. 酸化と還元 ・酸化還元反応の定義を理解する。 2. 酸化数と酸化還元反応 ・酸化数を計算できるようにする。 ・酸化数の増加減少から、酸化還元反応を理解する。 3. 酸化剤と還元剤と金属のイオン化傾向 ・代表的な酸化剤と還元剤の半反応式をかけるようにする。 ・金属のイオン化傾向を覚える。	8
評価の観点・方法		「定期考査」、「提出物」、「小テスト」、「授業態度」を総合的に判断して成績を出す。	

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1組：永山・佐々木）（2組：永山・佐々木）（3組：永山・佐々木）（4組：永山・佐々木）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって健康な生活を送っていただける体力・技能・知識を身につける

【知 識 及 び 技 能】さまざまな運動種目の技能やそれに必要な体力とルールを身につける。

【思考力、判断力、表現力等】さまざまな運動種目の技能の習得とそれに必要な体力の向上やルールについて身につける工夫をする。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな運動種目の技能の習得とそれに必要な体力の向上やルールについて身につける努力をする。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって健康な生活を送っていただける体力・技能・知識を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な運動種目が有ることを知りその技能を身につける。	安全に留意しながらその運動を楽しむことができるようにする。	仲間と協力しながら練習し運動を楽しめるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 バドミントン 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的な打ち方	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	B 単元 バドミントン 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 試合のルール	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	7
	C 単元 体力テスト 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 正しい測定方法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	D 単元 水泳 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的泳法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	7
2 学 期	A 単元 水泳 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 基本的泳法	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	6
	B 単元 サッカー 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 キックの基本 ボールコントロール 試合	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	11
	C 単元 バスケットボール 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 バス シュート ド リブル 試合	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	11
3 学 期	A 単元 持久走 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 持久走	【知識・技能】 ・それぞれの種目の基礎技能を修得しようとして取り組んでいるか。 【思考・判断・表現】 ・ルールや運動特性を理解しているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・協力して取り組んでいるか。	○	○	○	16

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1組：佐々木 2組：永山 3組：永山 4組：永山）

使用教科書：（ 現代高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって健康な生活を送っていただける体力・技能・知識を身につける

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたって健康な生活を確立・維持していただけるような知識を身につける

【思考力、判断力、表現力等】健康な生活を確立・維持していただけるよう自ら考え、行動できるようにする

【学びに向かう力、人間性等】健康な生活を保っていただけるような知識を身につけようと努力する姿勢を持つ

科目 保健 の目標： 生涯にわたって健康な生活を送っていただける知識を身につける

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって健康な生活を送れるような知識と技能を身につける。	健康な生活を確立しそれを維持していただけるよう自ら考え、行動できるようにする。	健康な生活を保っていただけるような知識と技能を身につけようと努力する姿勢を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 健康の成り立ち ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	B 単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 生活習慣病の予防と回復 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	C 現代社会と健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 がんの原因と予防 がんの治療と回復 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	3
	D 単元 現代社会と健康 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 喫煙と健康 飲酒と健康 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	4
2 学 期	A 単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 現代の感染症 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	7
	B 単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 感染症の予防 現代の感染症 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	7
3 学 期	A 単元 安全な社会生活 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 定期考査	・指導事項 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 年間で3回の定期考査で理解度を測る。 【思考・判断・表現】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより思考力等を測る。 【主体的に学習に取り組む態度】 年間で3回の定期考査や課題、プリント提出などにより取り組む態度等を見る。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書						
1 学 期	A 単元 Pre-Lesson 1 & 2 【知識及び技能】 be動詞を用いた文の理解	・指導事項 be動詞	○	○			○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	3
	B 単元 Lesson 1 【知識及び技能】 動詞の過去形 【思考力、判断力、表現力等】 好きな食べ物について英語で述べる ことができる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に会話に参加する	・指導事項 動詞の過去形 ・教材 ワークブック	○	○	○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	4
	定期考査									○	○		1
	C 単元 Lesson 2 【知識及び技能】 進行形 自己紹介スピーチ 【思考力、判断力、表現力等】 好きな動物について英語で述べる ことができる 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチテストに積極的に参加す	・指導事項 進行形 自己紹介スピーチ ・教材 ワークブック プリント	○	○	○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	4
	D 単元 スピーチテスト 【知識及び技能】 自己紹介 【思考力、判断力、表現力等】 相手にわかりやすく自己紹介をする 【学びに向かう力、人間性等】 他の生徒のスピーチを意欲的に聞く	・指導事項 スピーチの基本を身に着ける ・教材 プリント	○		○		○	観察 プリント		○	○	○	4
	定期考査									○	○		1
2 学 期	E 単元 Lesson 3 【知識及び技能】 助動詞 【思考力、判断力、表現力等】 ある場所への行き方を英語で述べる 【学びに向かう力、人間性等】 職業観を学ぶ。	・指導事項 助動詞 ・教材 ワークブック プリント	○	○	○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	8
	定期考査									○	○		1
	F 単元 Lesson 4 【知識及び技能】 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 行ってみたい場所について英語で述 べることができる 【学びに向かう力、人間性等】 海外の観光地について学ぶ。	・指導事項 不定詞 ・教材 ワークブック プリント	○	○	○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	12
	定期考査									○	○		1
3 学 期	G 単元 Lesson 5 【知識及び技能】 動名詞 【思考力、判断力、表現力等】 好きなことと将来の夢について英語 で述べることができる 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチテストに積極的に参加す	・指導事項 動名詞 ・教材 ワークブック プリント	○	○	○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	10
	H 単元 スピーチテスト 【知識及び技能】 道案内 【思考力、判断力、表現力等】 行ってみたい場所について英語で述 べることができる 【学びに向かう力、人間性等】 スピーチテストに積極的に参加す	・指導事項 道案内の基本を身に着ける ・教材 プリント	○		○		○	観察 ワークブック 小テスト プリント		○	○	○	6
												合 計	55

高等学校 令和7年度

教科 工業

科目 工業技術基礎

教科 工業

科目 工業技術基礎

単位数 3 単位

対象学年組 第 1 学年 1 組～ 4 組

教科担当者 (1 組 : 北爪・栗股・平出・二見) (2 組 : 木根淵・嶋田・星野・菊池) (3 組 : 春日・篠原・渡邊・山際) (4 組 : 春日・高橋・)

使用教科書 (工業技術基礎)

- 教科 工業
- の目標 :
- 【 知 識 及 び 技 能 】工業科として、ものづくりに関する知識と技能を習得するために意欲的に活動できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】工業科として、ものづくりに必要な思考を深め、問題解決を図る為の判断及び表現を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】工業科として、ものづくりへの興味関心を高め、自ら学ぶ力を向上させる。

科目 工業技術基礎

の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業に関する基礎的な知識と技術を理解し、計測実習、工作実習、アーク溶接実習、自動車実習、制御実習、電気工事、NC実習、旋盤実習に関する知識や技術を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、計測実習、工作実習、アーク溶接実習、自動車実習、制御実習、電気工事、NC実習、旋盤実習に関する知識や技術を組み合わせて適切に判断することができる。	工業に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション ①計測実習 ②工作実習 ③アーク溶接実習 ④自動車実習 ⑤制御実習 ⑥電気工事 ⑦NC実習 ⑧旋盤実習	①計測実習…電流計や電圧計等の使い方を学び、直流回路の電流、電圧を測定して、理論値と比較し考察する。 ②工作実習…抵抗やダイオード等の電子部品の特徴や半田付けの方法を学び、テスターを製作する。 ③アーク溶接実習…アーク溶接の基礎知識を学び、アークの発生、ビード置き、突合わせ溶接を行う。 ④自動車実習…エンジンの基礎知識を学び、エンジンの分解と組立てを通して、工具の使い方などの基本作業を行う。 ⑤制御実習…基本的なプログラミングの作り方を学び、ドローンの制御を行う。 ⑥電気工事…屋内配線図の見方や工具の使用法を学び、小規模な電灯配線の工事を行う。 ⑦NC実習…NC工作機械の基礎知識を学び、レーザー加工機でアクリル板を加工する。 ⑧旋盤実習…旋盤の基礎知識を学び、段付き丸棒の製作を通して、旋盤の基本作業を行う。 年間の前半は①から⑧のショップの内、4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。 年間の後半①から⑧のショップの内、残りの4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	42
2 学 期	①計測実習 ②工作実習 ③アーク溶接実習 ④自動車実習 ⑤制御実習 ⑥電気工事 ⑦NC実習 ⑧旋盤実習	年間の前半は①から⑧のショップの内、4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。 年間の後半①から⑧のショップの内、残りの4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	42
3 学 期	①計測実習 ②工作実習 ③アーク溶接実習 ④自動車実習 ⑤制御実習 ⑥電気工事 ⑦NC実習 ⑧旋盤実習	年間の前半は①から⑧のショップの内、4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。 年間の後半①から⑧のショップの内、残りの4ショップの組み合わせで、約3回ごとにローテーションを行う。	出席状況、授業態度、学習に関する取り組み、報告書の提出	○	○	○	21

